

登録コード	E7101200	開講年度	2026			
授業科目	現代教育基礎				担当教員	高柳 充利 他
英文授業名	Base of Frontiers of Education				副担当	越智 康詞
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・1時限	対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			⇔	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観について自分なりに考えを深めることができるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			⇔	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能について自分なりに考えを深めることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	教育実践科学、異文化間教育、ICT活用教育、発達・教育心理の4つのユニットに関する学問領域において、講義と演習を行い、各ユニットで学ぶ内容を解説する。また、教育の現代的な話題に対して、問題解決型ディスカッションで理解を深める。					
(5)授業計画	〔第1回〕：ガイダンス（高柳） 〔第2回〕：ユニット体験型ディスカッション（ICT活用教育：森下、佐藤） 〔第3回〕：ユニット体験型ディスカッション（異文化間教育：徳井） 〔第4回〕：ユニット体験型ディスカッション（発達・教育心理：三和） 〔第5回〕：ユニット体験型ディスカッション（教育実践科学：安達） 〔第6回〕：問題解決型ディスカッション（教育実践科学：越智） 〔第7回〕：問題解決型ディスカッション（異文化間教育：徳井） 〔第8回〕：問題解決型ディスカッション（発達・教育心理：島田） 〔第9回〕：問題解決型ディスカッション（ICT活用教育：森下、佐藤） 〔第10回〕：ユニット選択相談会〔全体〕（各ユニット代表：高柳、徳井、森下、島田）【遠隔等】（オンデマンドあるいは対面） 〔第11回〕：ユニット選択相談会〔個別〕（高柳ほか）【遠隔等】（オンデマンドあるいは対面） 〔第12回〕：ユニット選択面談〔ユニットごと〕（高柳ほか）【遠隔等】（オンデマンドあるいは対面） 〔第13回〕：所属ユニット調整〔ゼミ見学・卒論閲覧等含む〕（高柳ほか）【遠隔等】（オンデマンドあるいは対面） 〔第14回〕：所属ユニット発表・確認＜予定＞（高柳）【遠隔等】（オンデマンドあるいは対面） ※計画については変更を加える場合もある ※第14回は授業アンケートの実施を含む。 ※教育実習における欠席分の補講については、欠席する回の担当教員に事前に申し出て指示を仰ぐこと。					
(6)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 ディスカッションの参加・課題：およそ60%、期末課題：およそ40%。 ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり,(ii) その問題の背景を説明できており,(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており,(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており,(v) その上で自分の見解を提示できており,かつ,教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもって観察・思索すること。 事後学習：授業で扱われた事項について、生活のなかで読書や討議の機会をみつけ、思考を深めること。 ・ この授業は90時間の学修を必要とする内容である。 従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	学校教育教員養成課程現代教育コースの学生に限る。 ユニット選択の手続きはこの授業を中心に行うので、必ず出席すること。 授業時間以外において各自の関心に基づき適宜学びを深めることが求められる。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・【窓口：高柳】オフィスアワーの実施場所：N316, 曜日・時間（在室の時はいつでも）。連絡先（研究室電話番号：026-238-4215, メールアドレス：takayana@shinshu-u.ac.jp）。					
【教科書】	指定しない。					
【参考文献】	授業中に紹介する。					